

豊かで 住みよい 町づくり



議会だより

2015. 5. 1 発行

# 上勝

## 3月 定例会

- 2P 26年度補正予算
- 3P 27年度予算
- 4P 主な質疑
- 5P 一般質問  
7名が町政について質問
- 12P 3セク報告
- 13P 議会の動き
- 14P まちのようす

# 平成27年度 一般会計予算

質疑討論の結果  
5対2で可決  
主な質疑は4ページ

総額 **29億4,600万円**

## 主な事業費

- 情報通信基盤整備事業負担金 **1億3,522万4千円**
- 葛又神明線・神明杉地線・杉地線整備事業費 **9,010万3千円**
- 地域おこし協力隊事業費(8名分) **2,944万円**
- キャンプ場再開発改修事業費 **2,475万4千円**
- 社会保障・税番号制度システム整備費 **4,032万8千円**
- 急傾斜地崩壊対策事業費(月ヶ谷・中村・下日浦) **535万円**
- 月ヶ谷温泉施設改修費 **2,794万5千円**
- 藤川住宅(ダム宿舎)・喰田町営住宅改修繕費 **1,541万5千円**
- 椎茸画像選別処理機購入費 **2,500万円**
- 榎原地区景観保護推進事業費 **745万円**

# 平成27年度 特別会計予算

質疑の結果すべて可決

- 国民健康保険(事業勘定) **2億9,500万7千円**
- 介護保険 **3億6,000万円**
- 国民健康保険(診療施設勘定) **1億571万3千円**
- 国民健康保険(福原診療施設勘定) **2,665万4千円**
- 東地区簡易水道事業 **3,446万6千円**
- 西地区簡易水道事業 **1,600万円**
- いっきゅう地区簡易水道事業 **1,350万円**
- 奨学資金 **360万1千円**
- 後期高齢者医療事業 **4,246万4千円**
- 高鉾財産区 **100万円**
- 福原財産区 **100万円**

監査委員の  
任命に同意  
しました

(敬称略)



重岡 孝俊

● 任期  
平成27年4月1日より  
平成31年3月31日まで

# 平成26年度 一般会計補正予算

質疑討論の結果  
5対2で可決  
主な質疑は4ページ

補正 **172万7千円**  
総額 **33億6,144万6千円**

## 主な事業費

- 基幹集落センター屋根修繕工事追加分 **112万2千円**
- テレビデジタル化対応備品購入  
福原多目的集会所・小学校・基幹集落センター **62万3千円**

上勝町公の施設管理者指定 → 13ページ参照 質疑討論の結果すべて可決

**条例制定・改正**

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定

介護保険条例の一部改正

5対2で可決

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関し必要な事項を定める条例の一部改正

行政手続条例の一部改正

常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

職員の給与に関する条例の一部改正

産業会館の設置に関する条例の一部改正

単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

質疑討論の結果すべて可決

# 平成26年度 補正予算

質疑討論の結果 5対2で可決  
主な質疑は4ページ

補正 **2億1,608万円**  
総額 **31億4,536万6千円**

## 主な事業費

- ゼロウェイストブランド資源による環境教育プログラム作成事業 **1,101万6千円**
- 彩山を活用した産業振興事業 **607万8千円**
- 町内プレミアム商品券補助金 **400万円**

## 主な減額

- 月ヶ谷温泉修繕事業基金積立金 **1,179万9千円**
- もくさん育成基金積立金 **192万9千円**
- 椎茸画像選別処理機購入費(上勝パイオ) **2,400万円**

第1回  
臨時議会

平成27年2月6日

第2回  
定例会

開 会 期  
閉 会 期  
平成27年3月10日  
平成27年3月20日



明本 恵一 議員

# 税の用途改善で福祉を

明本

## 臨時議会 主な質疑

### 26年度 一般会計補正予算

**明本議員** デジアナ変換が27年3月末停止となるが補助等は。

**花本町長** 9年前から呼びかけ周知していた。非課税世帯についてはチューナー支給、NHK受信料免除とか措置がとられている。新たに調査等はない。

**岩本議員** 福原宿泊体験施設の指定管理者がソシオデザインとなるいきさつは。

**桑原企画環境課長**

公募の結果、申請がソシオデザイン1社であった。移住定住、シェアハウスとしての施設でありノウハウ監督能力があると判断した。

**明本議員** 滞在型農林業体験実施施設(いっきゅう茶屋)の店員は何人か。

**山田産業課長**

常勤4名、非常勤4名で対応してゆくとのことです。請があった。

**明本議員** この施設で1階2階の収支報告は。

**山田産業課長**

毎年の総会で茶屋収支報告はされているが、分けて

の報告はされていない。

**鹿島議員** 3セク検討委員答申で事業廃止もやむなしとの結果であったが何を判断基準とするのか。

**花本町長** 指定管理は施設を誰に運営してもらうのかであって会社経営をどうするかではない。廃止の方向は本根を切ったようにスバツとはいかない。いろいろな事をクリアしなければならぬ。

**明本議員** 上勝バイオ27年度900万円の黒字化は可能か。経営トップの人事一新は。

**花本町長** 森産業の技術者を派遣してもらい新たな解決策を模索して優良なホダ木で発生させ経営を安定化させる方向である。

社長問題については会社トップは誰でもなれるようなものではない。現在の陣容では影山氏しかない。

**渡部議員** H1方式について希望を持っているようだが。

## 上勝バイオに入れこむ

**問** 社長は、バイオ黒字化は極めて困難と証言。26年度の赤字幅と、27年予想は。

**答 花本町長** 26年度は赤字4,500万円、27年度は900万円の黒字計画だ。

**問** 第3セクターは高度成長期の遺物、県内でも廃止が続出だ。甘い見通しは危険、バイオ・もくさんは早急に整理すべきでは。

森産業の方も研究模索中である。

## 臨時議会 主な討論

### 補正予算

**明本議員** デジタル化に伴い、貧しい家庭ではテレビの買いかえができない。温かい措置があつてしかるべきだ。

## 定例会 主な質疑

### 26年度 一般会計補正予算

**明本議員** 画像選別処理機導入を見送つた理由は。

**花本町長** 導入に時期尚早との意見を受け過疎債申請が12月に確定していなければならなかつたので見送つた。

**渡部議員** サステイナブルアカデミー創設事業というどり山を活用した産業振興事業とは。

**桑原企画環境課長** ゼロウェイストを活用した環境プログラムで5年後に10事業所、視察者1万人増の地域再生事業を進めるものである。

いどり山計画については、森林をいどり山ビジネスに活用することにより、移住者10人増を31年にめざすものである。

## 27年度 一般会計予算

### 修正動議

**明本議員** 総額29億2,100万円と改める。農林水産施設整備事業費2,500万円を減額。

### 提案理由

上勝バイオの経営改善は椎茸ホダ木を造り良い椎茸を生産することが重要で機械導入によって解決を図る事は時期尚早である。

### 修正動議に対する質疑

**武士議員** 現在バイオの収穫量は増大し、バックできないで山積みしている状況をどう考えるか。

**明本議員** 昨年の1月2月は目標に対し68%・75%となつている。異状発生となるその時だけの対策であつてはならない。

**鹿島議員** 今の現状では大量発生した場合、対処できない状況であるが。

**明本議員** 人を増やす等現場で対処すべきである。

原案に対する質疑

**渡部議員** 「いっきゅうと彩の里・かみかつ」魅力発信事業は。

**桑原企画環境課長** キャンプ場を秋・冬にも利用できるように「星のリゾート」のスタッフを招いてプログラムを作成する。

**松下議員** 「企業人材確保育成支援事業等補助金」は。

**桑原企画環境課長**

インターンシップ事業での町内受入れ農家の謝礼と参加者の補助金。

**松下議員** 「安心安全見守りシステム」保守は。

**桑原住民課長**

ひとり暮らしの高齢者の家に人感センサーを設置して人の動きを見守るシステムの報償費は。

**武士議員** 健康増進事業

**桑原住民課長**

貯金教室での保健師・看護師・栄養士の謝礼。

**明本議員** 上勝町美しい集落再生プラン支援補助金も必要だ。

桑原企画環境課長

補助金の使い方を改善してほしいとのことだが、高齢者が多くて特殊な技術がいるオペレーターには講師謝礼で対処する。

**鹿島議員** 全納報奨金とは。

**傍示税務課長**

町・県民税を全納すると少し安くなる。

## 定例会 主な討論

### 一般会計予算

### 修正動議賛成

**渡部議員** 赤字経営で機械導入はおかしい。

### 一般会計原案

### 反対

**明本議員** 上勝バイオは繰り返し同じ事をしてる。仕込量等減らせ。

### 賛成

**松下議員** 大量発生はやむを得ない雇用を守るべきである。

### 賛成

**藤田議員** 上勝の事業は少ない。産業は守らなければならない。

## 子育て支援

**問** 上勝町に踏みとどまつて学業に励む高校生たちに医療費無料化は是非とも必要だ。

**答 花本町長** 県内2自治体で無料化をしている。スポーツ傷害等に偏りメリットが少ない。

**問** 第3子以上の子供を持つ多子世帯の保育料無料化を実施すべき。

**答 花本町長** 3人同時に保育園に行つていない。子育て新制度が発足する、その中で検討していきたい。

## JA上勝支所の進入路

**問** 北側通路は歩行者だけとなり、住民生活に不便を来している。河川にひさし状に張り出し柵

を設ける等安全対策は出来ないか。軽自動車くらいは通せないか。

**答 花本町長** 赤線道路を挟んで両側が民地だ。国調でも境界未確定だ。今のところ難しい。

**問** 南側進入路も大型車が駐車し、荷役等で危険だ。安全対策は、道交法は適用されるか。

**答 花本町長** 南側は4メートルの町道がある。構内でも特定多数者の通行があれば道交法は適用される。

## 高鉾公民館の簡易エレベーター

**問** 高齢者のための簡易エレベーターはいつ設置するのか。

**答 花本町長** 空きの多いときに施工する。



岩本文昭 議員

# 小、中学生の塾はどうする 岩本

## アララギ学習会で対応 教育長

### 教育問題

**問** 小、中学校の統合問題が報道された。実態はどうか。

**答** 立川教育長

上勝町は小中一校で必要性が無い。

**問** 町内に限らず他町村とも検討するとの事ではないのか。

**答** 立川教育長

検討の必要というのは県下の総合的な見解であり、町内にそういう考えはない。

**問** アララギ学習会の件で多くの保護者が心配するのは受験対策と思われるが、学習指導方法は、

**答** 立川教育長

一日の授業は40分の2こま、前半は授業の復習後半は主に個別指導、授業のカバー等を考えている。

**問** 次年度以降は小学生も対象にしたいとあるが、具体的にいつごろか。

**答** 立川教育長

27年度の中学校の学習を検証して時期を決めていきたいが、他の取り組みもあるので27年度以降になる。

**問** 講師の採用条件、公募方法はどうか。

**答** 立川教育長

基本的にはその教科に精通している人、生徒理解が出来る人、高校の学

習内容が指導出来る位の講師を設定している。公募はしていないがニーズに合った先生にお願いしている。

**答** 花本町長

すでに教育長から打診をしている、お金の相談も済み、積み上げたのが今回の予算である。誰でもいいという訳には行かない。直接お願いするのが良いのか、公募か、今後検討するが今回は内定している。



高畑の桜

## 町内防犯灯 問題

**問** 現在、町管理・所有の防犯灯の数を各名別に上げよ。それと各名が管理所有している数は把握出来ているのか。

**答** 横山総務課長

町管理には防犯灯と街路灯の2種類がある、防犯灯については総務課が管理しており、福川2、藤川11、柳谷2、傍示15、福原14、川西1、瀬津9、野尻3、田野々15、市字3、八重地4、の計79基で有る。建設課管理の街路灯は福川32、柳谷10、藤川47、傍示49、福原31、川西3、瀬津36、野尻15、田野々35、市字12、八重地7の計277基である。名管理については把握出来ていない。

**問** 町内多くの防犯灯・街路灯の数であるが、要望があれば新規の設備は可能か。

**答** 横山総務課長

防犯灯については消防団との申し合わせもあり、移設は可能であるが新規は難しい。

**答** 中原建設課長

街路灯の新規については住宅周辺の状況、交通の安全及び防犯面で必要性があれば検討する。名総代、個人名、消防団で登録されている台帳は残っている。

**問** LED化を望む声が多くある。他町村でも切り替えている。本町の計画はないのか。

**答** 横山総務課長

現在防犯灯2基改修中であるが、それはLEDにする。今後器具の交換に合わせて予算、場所も考えLED化を検討する。

町政を問う



武市 功 議員

# 地方創生策定の経緯は

武市

## 国の提示メニューを参考にした

環境課

**問** 地方創生策定作業、どのような経緯でされたか。

**答** 桑原企画環境課長

2月10日制定、実施計画の提出期限3月6日と短い検討期間であったため、提示メニュー例を参考にした。今後の推進は町職員を中心としたプロジェクトチームを編成、体制づくりをする。

**問** 創生予算の使途条件、地域の声等は反映されたか。

**答** 桑原企画環境課長

地域の積極的な取り組みを支援する交付金で、自治体の判断に委ねられている。地方総合戦略5ヶ年計画を9月までに策定の予定。美しい集落再生プランと創生事業メニ

ューの整合性を踏まえて組み入れるか検討したい。

**問** 各地で景観整備等が進められている。町内分散型でいど山構想を広げる考えは。

**答** 花本町長

イターン等、人の出入りのチェックがされ結果が求められる事業であり、観光客の増加や後継者の育成といった可能性の高い事業でなければ創生版には採択されないのが難しい。

## 地方創生一番の効果策に那賀町へのトンネル構想は

**問** 高知徳島最短交通網の検討等を。

**答** 森副町長

創生事業は基本的には公共事業は対象とならない。県事業で推進方策について考えると、近年の公共事業は南海トラフ対

## ふるさと納税協力者との交流行事等の企画は

**問** 納税で上勝を応援していただいている方と親密な関係作り施策で、ひいてはUターン・イターン・孫ターン・企業誘致へとつながるような、外から視線でのまちづくりの企画を期待したいが。

**答** 花本町長

U・イターンにつなげるような交流については有益と考える。機会をとらえ温泉など企業団体と連携して検討したい。

## 空き家対策特別措置法、本町の取り組みは

**答** 桑原企画環境課長

県の具体的ガイドラインが5月に示される。取り組みはそれから。

**問** 税制面での措置は。

**答** 傍示税務課長

27年度税制大綱において、法に基づく必要な措置の勧告対象家屋や土地について、住宅用地の特例から除外する措置で、除外については法律及びひの公平性と照らし合わせ検討したい。

**問** 長崎県佐世保市で空き家の解体費用の80%を補助する事例も、助成措置を前向きに考えられないか。

**答** 森副町長

美しいまちづくり条例による集落再生を推進している上勝町として、荒廃空き家については真剣に考えなければならぬ課題であり、近く県からのガイドラインが示される予定であり、それらを参考にして助成措置も含めて町としての対策を考えたい。



吉成邸跡 (杉地)



藤田 欣宏 議員

**問** 上勝町の人口はどうなっているのか。

**答 桑原住民課長**  
昭和30年に合併し、31年3月31日は6,265人であった。平成27年3月1日は1,733人の人口となっている。

中、1番として人口減少と地域経済縮小の克服2番として町・人・仕事の創生と好環境の確立を目指し、積極的に取り組んでいく。

**答 森副町長**

切れ目のない支援を目指していければと思う。今回大きな支援として、教育の学習塾が始まり大きな支援になり、地方創生が上勝のチャンスで取り組む必要がある。

**答 立川教育長**

教育の充実であり、優秀な教職員の招聘に取り組みたい。

**答 横山総務課長**

経済力が1番重要とされている。彩とか花木に特化していくことと地方創生に特に力を入れていきたい。

**答 桑原住民課長**

人口減少の主な事由は死亡者と出生者の大きな差にあらわれた。進学を機に家族で引越すことがある。

**答 傍示税務課長**

税務課から見ると26年度の固定資産税29%が町外に出ている。土地家屋の有効活用、売買貸し借り等で人口減少措置対策にも有効と考えている。

**答 中原建設課長**

人口減は自然減が多数を占めている。職場の確保、町営住宅も建設しており、活用していけばと思う。

**答 桑原企画環境課長**

国内外で彩やごみゼロの上勝ブランドが認知されること、農林水産業を絡めたサービス産業の増大により職場を確保することが重要である。

また、人口の自然減は避けられないので、減少を想定した町づくりを進めることも大切である。

**答 山田産業課長**

上勝に住みたい人が住めることが施策を着実に行うことが必要と思う。

**答 細束会計管理者兼出納室長**

時代の流れに対応できる施策が必要だと考える。



上勝の未来を担う子供達

## 人口対策を各担当に問う 藤田

**問** 寂しい人口数になりどうかしなと思うが、町長・副町長・課長各位の考えを伺う。

**答 花本町長**

住民については住み続けたい、移住者には住んでみたいと思える上勝町づくりが必要不可欠である。地方創生が叫ばれる

**答 吉積教育委員会事務局長**

上勝町に住んでよかつたと思えることが肝要と思う。委員会としては、公費における学習面での強化を行い、市内に行かずとも希望高校へ行く学力を確保し、町内に居住する有利性を対策としたらと思っています。

町政を問う



松下 和照 議員

## 上那賀線迂回路・林道に係わる期成同盟が成立

松下

## 林道としての机上調査、事業採択が一番重要

町長

**問** 八重地・市宇・檉原間の林道迂回路について各地域の代表による会議の結果、期成同盟会が成立、活動を始めた。この事について重要性のもと工期短縮等、町長の考えを伺う。

**答 花本町長**

林道網の整備を進めて行く上で机上調査を実施

**問** 県森林関係の積立金の利用は出来ないのか伺う。

**答 森副町長**

して林道要件合致となると、同盟会等の皆さんに交渉事をお願いした上で事業採択、測量の段取りなり其後、予算獲得の形で推進して行く。まずは事業採択が一番と言う事だ。



集落修景（生実）

**答 森副町長**

この積立金は2つあるが、いずれも森林の公有化を適正に進めるもので林道建設には該当しないので、本町の林道開設においては道路整備交付金を活用、過疎債等により事業を推進してまいりたい。

**問** 地域おこし協力隊の活動状況と評価は。

**答 桑原企画環境課長**

各自に対し3年後起業や就職出来る限り果すこと、又定住という目的意識を持ってもらい、日常活動は日誌に書き月報・年間の活動実績の提

**問** 2040年の上勝町の人口数が推測されているが、予測より減少が早まるのでは。

**答 桑原住民課長**

上勝町で一番人口の多かったのが昭和25年で6,356人、20年後平成2年2,450人で1,607人の減、2040年には884人という推測が出て

**答 中原建設課長**

平成13年4月10日、土砂災害防止法が施行され、土砂災害発生時の恐れのある区域を明らかにして、警戒避難体制の整備や宅地等の新規立地を抑制する等を目的として居り、注意喚起は大切と考えている。

**問** 美しい町づくりの進捗は

**答 山田産業課長**

本町は傾斜地が多く作業条件が厳しい。安定した所得の確保が難しい。

**問** 学校授業との関連の指導内容の整合性は。

**答 立川教育長**

基本的には学校授業の復習が中心で授業の理解度を高め、同じ教科書を使うので、整合性に問題はなく同じ方向で教えていく。



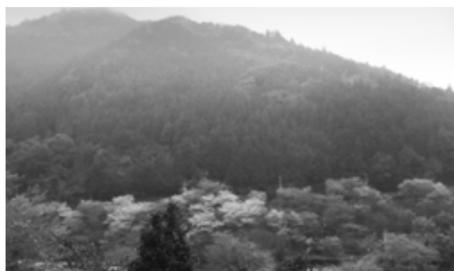
渡部厚子 議員

渡部

企画環境課長

# 温泉周囲の彩ゾーンとは

## 景観より産業優先



「彩山計画」の山

**問** 彩山計画の彩ゾーンは景観重視か、産業用か管理はどこがするのか。

**答** 桑原企画環境課長

産業優先である。彩の雇用創出が原点で、この彩山は一つの手段である。

景観的なものは維持経費が高い。彩ゾーン上の部分も産業用に、銘木になるような植生構成にしてゆく必要があるが、彩ゾーンの図面はあくまでイメージである。今後計画が具体的にいったとき管理の議論が必要になってくる。

**上勝バイオ 機械化を進めたい**  
／産業課長

**生産技術確立が先では**

**問** 上勝バイオの椎茸の収量が回復したとのことだが。

**答** 山田産業課長

2月中旬から多いときは日量1,800キロ、現在は1,500キロ前後の収穫がある。改善されたほだ木が発生時期に入ったか、気温上昇のせいと考える。

**問** 昨年も春まで生産量は順調で、その後、年末までずっと落ち込んだ。ほだ木が改善されたか今の時点では判断できない。画像処理機の導入は、もう少し様子を見て検討すべきではないか。

**答** 花本町長

パックセンターは週5日しか稼働してないので、土日分がパックできない。3月11日ぐらいから栽培部から動員しているが処理しきれない。

**問** 1日4時間とか週に何日か働く人を正社員にするなどすれば、勤めながら農業で田舎で暮らしたい人に向いてないか。町外から資材も人も持つてくる大企業でなく、地元の人材と人で小規模にやる方が上勝に向いてないか。

**答** 山田産業課長

いろいろ指摘はあるが現状が難しいので、今後検討してゆく。

**風力発電 土台の撤去は**

**地下コンクリートは撤去しない**  
／企画環境課長

**問** 風力発電のメリット、デメリットは。

**答** 桑原企画環境課長

固定資産税、償却資産税が増える。法人・町民税、雇用が増える可能性がある。地域貢献の提案もある。

デメリットは工事中の交通量増加、完成後は台風時の転倒の心配、景観も人によっては悪く思う。 **問** 事業終了後に土台のコンクリートは撤去しないとなっている。上勝のような急峻な山の場合、地下部が影響するかまだわかってない。撤去を条件に入れられないのか。

**答** 桑原企画環境課長

国の基準で地下2メートルまでの撤去となる。最終的には地権者と事業者の話し合いとなる。

地権者なら自分の土地を好き勝手にしたいわけではない。20年で国が電力買取補助を終えたら無用の長物になってしまう可能性がある。

風力発電が上勝に向いているか、よく考えてほしい。(渡部)

# 支援した2億6,000万円再出発できたか

鹿島

産業課長

## 少しずつできていく

**問** 支援した2億6000万円再出発はできたのか。

**答** 山田産業課長

過去からの借入金、買掛け未払金の支払を済ました。収支については、身軽になった。品質の良いシイタケ、ほだ木を生産するための技術者の招

聘、社員研修の実施と本来の職務ができるようになり、少しずつ再出発できている。

**問** シイタケの小ぶり、黒ずみ、黒カビ等の対策は。

**答** 山田産業課長

3月から日本キノコ産業の赤石氏を招聘して、菌床関係の問題点を究明していくことに取組んでいる。

**問** 上勝バイオの赤字が出ている部門は。

**答** 山田産業課長

不良菌床ほだ木の発生シイタケの黒ずみ、小ぶり化等。それぞれのハウスにおける収穫量の上下30%の改善。今年の2月中旬ぐらいからシイタケの収穫量が日量1,500kg以上の日も出てきたというようの中で、パック部門の人員不足の問題があり、現在10日分ぐら



鹿島國男 議員



しいたけ画像選別機

**問** プレミアム商品券はどのように販売をするのか。

**答** 山田産業課長

阿波とくしま商品券は1万円1セット(1万2,000円相当) 1人5セットまで。4月20日より

**農業支援について又薬草を栽培しては**

**問** 農業の専門の知識のある職員を産業課においてほしいが。

**答** 山田産業課長

産業課において、県農業支援センター、東とくしま農協、株式会社いろいろ、産業課職員、田上さんも入って農業戦略会議を毎月開いているので相談してほしい。

薬草については、連作障害、広葉樹の林地内に生息していることから、多くの品種において畑での栽培が困難であると聞いているが、町内での薬草栽培については検討していきたい。

他に彩山についても質問した。

# 第3セクター調査研究特別委員会 報告書（第2回）

平成27年3月20日

## （株）上勝バイオについて

第1回の調査報告を踏まえ、平成26年10月7日から平成27年3月13日まで審議した結果は次のとおりである。

### 1. 経営悪化の原因解明について

しいたけ市場の価格低迷は、平成21年度kg単価832円が、25年度708円と下落し、厳しい環境についての報告があり、収益性の低下や高齢化による栽培農家が減少し、菌床の製造と栽培を同時並行して事業化せざるを得なくなった状況に対応が遅れたとあるが、直営栽培はそれまでもされ、技術指導は業務の一つでもあり技術は蓄積されていなければならぬところである。

また、長年培われたはずの専門の菌床製造過程で不良品対策の原困究明の解決策が成されぬままに、販売拡大路線によるしいたけ増産

のため、未熟な菌床まで栽培棟に送り込むなど、しいたけ栽培の基

本がしっかりと把握できていない経営体質や、日々の努力の成果が結果として表れないところに、幹部職員や社員も緊張感や向上心が低下していると思われる会社の体質である。アンケート結果では、良い製品良い商品づくりをしたいとの社員の前向きな思いが感じられるが、それに会社が対応できていないと判断する。

### 2. 菌床製造について

森菌を導入検討する中でカネボウ方式でも可能との判断から森菌導入を決定し移行してきた経緯と思われるが、森産業技術陣の指導を得るのはもちろんのことであるが、現行施設でどう対応するのかも課題と考えられ徹底したあらゆる方面から原因解明の必要を感じる。HI方式の導入による有機JA S認証取得による有利販売策を進

めるとあるが、将来的に、現行ハウスの利用、原材料調達など、果たして有機JAS認証が価格アップにつながる収益増につながるか現状では不透明である。

### 3. 各種生産工程について

消費動向に合わせた生産計画の策定で、菌床製造および栽培重要期を設定考慮した生産体制はできないか、人員を状況に合わせて移動する等効率的に配置することで、人員の削減ができないか等研究をされたい。

### 4. 製造生産技術の向上について

種菌会社や生産農家の助言指導、現場担当者間の連携情報交換、提案発想等を尊重し社員のやる気を醸成、省力化、改善点等常に前向きに考えながら行動する人材を育成し、技術力生産力の向上を図りたい。

### 5. 組織の見直しについて

社長の交代により社風が変わることは、社員の心機一転の機運を高め、現状打開に向けて社員の士気向上につながると考えられるが、

社員一人ひとりが会社を背負って運営していくという気概を持って職務に励むことを求める。また、新旧従業員の賃金逆転現象を速やかに是正すべきである。

### 6. 結論

今回、2億6,000万円の町からの資金投入で、課題であった長期債務について解消が図られ、債務返済にかかる利息などで経営に支障をきたしていた部分の排除ができ、いわば白紙からのスタートである。

今更で、雇用の場の確保という事で、再三にわたり公費の投入による延命策が図られてきた。

独立採算性による健全な経営が、第三セクターの命題である。議会として（株）上勝バイオの経営に対し、今後、赤字が出てても出資金による支援は一切しない、させない意見集約した。

今後において、自力により経営強化を図り安定した施設管理が肝要と判断する。

## 議会の動き

### 1月

- 13日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 16日 徳島県町村議会女性議員連盟スキルアップ講座 (徳島市)
- 19日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 20日 第16回 第3セクター調査研究特別委員会
- 22日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 24日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 30日 第17回 第3セクター調査研究特別委員会

### 2月

- 2日 議会全員協議会 (指定管理)
- 6日 第1回臨時議会 (補正予算、指定管理)
- 16日 勝名地区町村議会議員研修会 (上勝町)
- 27日 勝名地区町村議会議長会総会 (徳島市)
- 27日 徳島県町村議会議長会総会、自治功労表彰 (徳島市)

### 3月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 議会全員協議会
- 4日 第18回 第3セクター調査研究特別委員会
- 10日 第2回定例議会 第1日 (開会)
- 11日 議会全員協議会 (当初予算)
- 13日 第19回 第3セクター調査研究特別委員会
- 18日 第2回定例議会 第2日
- 20日 第2回定例議会 第3日 (閉会)

## 上勝町所有公共施設の指定管理者制度施設管理予定者一覧

番号	建物名	指定管理者	賛成者数
1	上勝町自然教育センター (あさひ)	ハーモニーライフクラブ旭	7
2	上勝町コインランドリー施設	社会福祉法人 上勝町社会福祉協議会	7
3	彩保育園	社会福祉法人 彩福社会	7
4	上勝町デイサービスセンター	社会福祉法人 健祥会	7
5	上勝町在宅介護支援センター	社会福祉法人 健祥会	7
6	上勝町介護予防活動センター (ひだまり)	特定非営利活動法人 ゼロ・ウェイストアカデミー	7
7	南岡地区簡易給水施設	南岡地区簡易給水施設管理組合	7
8	日浦地区簡易給水施設	日浦地区簡易給水施設学理組合	7
9	檜原地区簡易給水施設	檜原地区簡易給水施設管理組合	7
10	府殿地区簡易給水施設	府殿地区簡易給水施設管理組合	7
11	中瀬津地区簡易給水施設	中瀬津簡易給水施設管理組合	7
12	上勝町藤川宿泊施設	(株)いるどり	7
13	上勝町福原宿泊体験施設	ソシオデザイン	7
14	上勝町滞在型農林業体験実習付帯施設 (いっきゅう茶屋)	いっきゅう茶屋管理運営協議会	7
15	上勝町農産物加工施設	彩食品グループ	7
16	婦人・若者等活動促進施設 (市宇集会所)	市宇婦人活動センター管理運営委員会	7
17	上勝町木材製品出荷調整施設	(株)もくさん	4
18	上勝町月ヶ谷温泉交流施設	(株)かみかついっきゅう	7
19	上勝町滞在型農林業体験実習拠点施設等 (コテージ・キャンプ場)	(株)かみかついっきゅう	7
20	上勝町農林産業施設 (菌床椎茸櫛木生産施設 (工場))	(株)上勝バイオ	4
21	上勝町特用林産物栽培施設等 (庵の谷団地、中山団地)	(株)上勝バイオ	4

# まちのようす



小学校卒業式



中学校卒業式



福川敬老会



福原敬老会 (月ヶ谷温泉)



春の田野々の彩山



修景進む下野地区

## 編集後記

来る年は

雨かあられか

知らねども

今日の仕事の

田草取るなり

この短歌は私の恩師がくれた一節で、今も大切に記憶している。

昨年末より天候不順で師走の大雪、今春の降雨は連続何日も……春田づくりには水は欠かせない。草木の育成にはよいが、反面雑草には手をやく。害虫が増殖し、病害も。よき夏の到来を待つ!!

(松下)

